

第2学年 学活 略案

1 日時 令和 7年 月 日 ()

2 学年・組 2学年

3 題材名 「これって便利でしょ！？～メガネとイヤーマフについて～」

4 特別活動（学級活動）

学級活動を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるより良い生活づくりに参画し諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

5 本時の目標

- ・道具を使ってその特徴を知る。
- ・自分に合っているかどうかがわかる。人によって便利さがあることを知る。

6 本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点
5分 導入	<p>I 本時の学習内容の確認</p> <p>「こまったなあー見えないなー」（教員がジェスチャー）</p> <p>「そんな時にはなにがあったらいいでしょう？ある道具が必要だね。便利グッズを使っている人がいるね」</p> <p>・子ども「眼鏡ー！」</p>	○導入として注目を引き付けるために簡単なロールプレイやジェスチャーをして何に困っているかを確認する。（イラストにしてもよい）
15分 展開	<p>これって便利でしょ！？～メガネとイヤーマフについて～</p> <p>2 メガネについて</p> <p>発問：「みんなは眼鏡をつけている人が、どうやって見えているか知っていますか？」</p> <p>○クイズに答える。</p> <p>「先生がどのように見えているのか当ててみよう」</p> <p>1 「分身しているように見える」 2 「悪者」 3 「ぼやけて見えない」</p> <p>○見えづらい人の映像を見てみよう。（町の様子） 2分程度</p> <p>○「ぼやけシート」をつけて見えづらい人の体験をしてみよ</p>	○全員がわかるクイズで注目させ、意欲を高められるようにする。 ○場面に応じて見えづらい人の気持ち「信号が見えなくて

20分

う。
(机を班体系にする)

「ぼやけシート」を両目にあててぼやけた世界を見てみましょう。(ぼやけシートを配る)

危ない」「不安」「ちょっとこわい」を代弁しながら動画を見る。

・感想発表

・字が見えない

・時計が見えない

・危ない

○メガネについてまとめ

「見えづらい人にとって眼鏡ってものすごく便利なんだよ

ね。また、とても大切なものです。」

3 イヤーマフについて

○耳をふさいでいるイラストを見せる

「この人は何かに困っているみたいです。何に困っているかな？」

「この人は拍手の音が苦手なんだね。人によって苦手な音が違います」

○様々な音を聞く。高い音、大きい音、黒板をひっかく音等、「人が嫌だと感じる音を順番に鳴らしていきます。自分が苦手な音の時には手を挙げて教えてください。」

(スライドで音を順に鳴らしながら進める)

○無理をして聞かなくてもよいことを伝える。

「そんな時にはどうしましょう？ある道具があります。」

(イヤーマフを取り出す。)

○イヤーマフ体験

- ・順番に音を流していき、グループの中で苦手な音の人がイヤーマフを使う。
- ・教員が音を鳴らして交代を促す。

○感想発表

○使う順番は図や板書等で示す。

(班で順番を決めておく)

※同じ音が苦手な場合には数回音を流しても良い。

発問：イヤーマフを使ってみて聞こえ方はどうなりました
か？

- ・小さくなった
- ・つけたら我慢できた
- ・うるさくなくなった

5分

4 まとめ（スライド）

（例）

「こまつたときにはいろんな便利グッズがあるんだね。困つ
たときは保護者や先生に相談してください。」

準備：スライド、ぼやけシート子供の人数分、イヤーマフ10個程度、ふりかえりワークシート